

大学名	東京大学		
University	University of Tokyo		
外国人研究者	劉雲剛		
Foreign Researcher	LIU YUNGANG		
受入研究者	荒井良雄	職名	教授
Research Advisor	ARAI YOSHIO	Position	Professor
受入学部/研究科	総合文化研究科		
Faculty/Department	College of Arts and Sciences		

<外国人研究者プロフィール/Profile>

国籍	中国
Nationality	China
所属機関	中山大学
Affiliation	Sun Yat-sen University
現在の職名	教授
Position	Professor
研究期間	2016. 1. 2-2016. 3. 31
Period of Stay	Jan 2, 2016- March 31, 2016
専攻分野	人文地理学
Major Field	Human Geography



劉雲剛/Liu Yungang

<外国人研究者からの報告/Foreign Researcher Report>

①研究課題 / Theme of Research

中国における日本人就業者の生活空間  
中国では、産業のグローバル化に伴って、在留外国人就業者が急増しており、彼らの生活実態の解明と問題点の把握は重要な社会的課題である。この問題に関して、本人は、広州等の中国都市で在留日本人就業者の生活実態に関する調査を継続的に行っているが、この問題の十分に把握・検討するために、送り出し側である日本の関係機関に対する調査や帰国後の元中国就業者の調査を行う。

②研究概要 / Outline of Research

1990年代以来、中国では、在留日本人就業者が著しく増加しているが、中国では、外国人に対する社会サービスの供給体制の不備や、両国間の文化的ギャップのために、必ずしも日本人になじみやすい環境にあるとは限らない。本研究では、そうした中で彼らの日常行動やアイデンティティに関わる諸問題を日本国内の関係機関へのヒアリングおよび元中国就業者とその家族へのインタビュー調査等によって把握・検討しようとする。

③研究成果 / Results of Research

東京大学図書館をはじめ、国立国会図書館、JETRO、国立人口研究所などの関連機関および外務省ホームページの公開データを利用して、本研究に関する既存研究文献を収集した。さら、国立人口研究所、日本商工会、JETROの関係者や各大学の研究者を訪問し、特に中国における日本人就業者の動向、構成、関連政策の動向および、それらについての研究の動向などを確認した。また、新たな調査として帰国した元中国就業者とその家族35名にインタビュー調査を実施した。こうした研究の成果を論文としてまとめるとともに、日本地理学会大会などいくつかの学会およびシンポジウムにおいて発表した。

④今後の計画 / Further Research Plan

1. 外務省や日本商工会、JETROなどの機関を通じて引き続き海外日本人就業者の動向を把握する。
2. 元中国就業者の帰国者と現地の就業者との生活空間の比較研究を行う。
3. 日本人の生活空間とアイデンティティという本を書く。

## <受入研究者からの報告/Research Advisor Report>

### ①研究課題 / Theme of Research

#### 中国における日本人就業者の生活空間

中国では、産業のグローバル化に伴って、在留外国人就業者が急増しており、彼らの生活実態の解明と問題点の把握は重要な社会的課題である。この問題に関して、本人は、広州等の中国都市で在留日本人就業者の生活実態に関する調査を継続的に行っているが、この問題の十分に把握・検討するために、送り出し側である日本の関係機関に対する調査や帰国後の元中国就業者の調査を行う。

### ②研究概要 / Outline of Research

本研究では、帰国した元中国における日本人就業者の日常行動やアイデンティティに関わる諸問題を日本国内の関係機関へのヒアリングおよび元中国就業者とその家族へのインタビュー調査等によって把握・検討しようとする。中国ではこの問題に関する研究があまり進んでいないため、本人に対しては、日本における関連分野の研究動向を紹介し、文献調査の支援を行った。また、関係機関へのヒアリング調査について、助言を行い、円滑な遂行を支援した。今回の研究指導を通じて、この問題に関する今後の研究を促進できると考えられる。

### ③研究成果 / Results of Research

本研究によって、国立国会図書館、JETROなどの関連機関および外務省ホームページの公開データを利用して、本研究に関する既存研究文献が収集できた。さら、日本商工会ほかの関係機関や各大学の研究者から情報交換を行い、中国における日本人就業者の動向、構成、関連政策の動向等についての研究の動向などを確認することができた。また、元中国就業者とその家族に対するインタビュー調査を実施できたことも新たな成果である。今回予定している日本国内での調査活動の成果と本国での研究成果を統合することによって、中国における日本人就業者の生活環境を改善し、日本企業の活動を円滑なものにすることに資する知見が得られ、ひいては、中国社会の国際化に貢献するものと期待される。

### ④今後の計画 / Further Research Plan

本人は、外務省や日本商工会、JETROなどの機関を通じて引き続き海外日本人就業者の動向を把握し、元中国就業者の帰国者と現地の就業者との生活空間の比較研究を行うことにしている。本人の帰国後も、就職先の中山大学で行っている研究内容について、継続的に報告を受け、必要な助言を与えることとしている。また、場合によっては自ら中山大学に赴き、本人に対する研究の指導・助言を行うと共に、本人の指導学生に対するセミナーを開き、学生教育に関する指導も行うことを考えている。



荒井良雄先生と討論中/Discussion with Prof.Yoshio Arai



荒井良雄先生と文献サーチ中/Reference Searching with Prof.Yoshio Arai